

11月号



吾孺二中 ニュースレター

A to Z

墨田区立吾孺第二中学校

令和7年11月14日

心の力

校長 佐藤 順一

11月も半ば、今年もあと1ヶ月半となりました。この間、生徒の皆さんは授業や行事、生徒会活動、部活動に真剣に取り組み、学びと経験を積み重ねてきました。こうした努力は、これからの社会で求められる「心の力」を育む土台となっています。今の社会では、テストの点数だけでは測れない「心の力」がますます重要になっています。人と協力する力、自分を信じる力、困難に立ち向かう力、そして未来を見通す力。これらは、文部科学省が示す「つながる力」「見つめる力」「乗り越える力」「見通す力」とも深く関係しており、まさにこれからの時代を生き抜くために必要な力です。こうした力は「非認知能力」と呼ばれ、キャリア教育や生き方教育の中核をなすものです。



本校では、この「心の力」を育てるために、学力向上とともに学習指導要領に基づく特別活動の充実を重視しています。まずは学級活動。仲間を大切にすることは、学級という小さな社会から育まれます。授業中の規律、係や当番活動、学級のルールを守ることなど、日常の積み重ねが、責任感や協調性、思いやりの心を育てます。また、人権教育の視点から、「人の嫌がることを言わない・やらない」「相手の立場や状況を考えて行動する」といった基本的な人間関係のあり方を学び、温かく安心できる学級づくりを目指しています。次に、生徒会活動です。生徒会本部や各専門委員会が中心となり、現状の課題を自ら見つけ、話し合い、行動する力を育てています。先生に言われて動くのではなく、自分たちで考え、仲間と協力して学校をより良くしていく経験は、主体性や課題解決力を育む貴重な機会です。こうした活動を通して、生徒一人ひとりが「自分たちの学校をつくる」という意識を持つことを期待しています。さらに、学校行事や学年行事では、集団で困難を乗り越え、心を一つにする経験を通して、協調性や達成感を味わうことができます。

10月末には文化祭・合唱コンクールが行われました。学級や学校が一つになり、歌うことの楽しさ、表現することの素晴らしさを分かち合える機会となりました。準備の過程では、意見の違いや課題も出てくるかもしれませんが、それを乗り越えてこそ、真の感動が生まれます。こうした経験が、生徒の心を豊かにし、未来への力となっていくことを願っています。後期も、生徒一人ひとりが「心の力」を育みながら、充実した学校生活を送れるよう、教職員一同、力を合わせて支援してまいります。今後とも、保護者の皆様の温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。(11・10朝礼より)
[吾二生に身に付けてほしい力：見つめる力、乗り越える力、つながる力、見通す力]

令和7年度文化祭（ステージ発表）



海外派遣報告



民族舞踊



吹奏楽部



演劇部

AWARD-WINNING

特別賞 5組
金賞 1年1組
2年2組
3年2組



最優秀指揮者賞 3年1組 金谷 正太郎
優秀指揮者賞 2年2組 渋谷 咲姫
1年1組 坂倉 葵衣



1年生 皮革細工体験

墨田キールの方を講師としてお招きし、皮革細工体験（マルチケース作り）をしました！



2年生 もしもトイレがなかったら？



特定非営利活動法人ウォーターエイドジャパンから講師の先生をお招きし、「もしもトイレがなかったら」というテーマをもとに、人権について考える学習を行いました！